

1 小学校低学年用「サクラがさいたよ」

- ◆ **主題名** あとっかい 指導内容 低A 希望と勇氣、努力と強い意志
- ◆ **資料名** さくらがさいたよ (奈良県郷土資料 県教育委員会)

◆ **ねらい**

粘り強く縄跳びの練習を続けることで、二重跳びができた主人公について話し合うことを通して、あきらめることなく取り組むことの大切さを理解し、苦手なことや困難なことに対して、挑戦しようとする態度を育てる。

◆ **展開**

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
導入	1 今、挑戦していることについて話し合う。	○ 今、生活の中で挑戦していることはありますか。 ・漢字の練習 ・お手伝い	・生活の中でそれぞれが挑戦していることについて自由に話し合い、本時の主題に関わる問題意識をもたせる。	
展 開	2 資料「さくらがさいたよ」を読んで話し合う。	○ 縄が足に勢いよく当たり、く思わずしゃがみ込んだ主人公は、どんなことを思っていたでしょう。 ・絶対できっこない。 ・今年も、やっぱりできないのかな。 ・何で私だけできないんだろう。 ○ お母さんから桜のつぼみの話を聞いた主人公は、どんなことを考えたでしょう。 ・本当にできるようになるのか不安だ。 ・練習を続けると必ずできるようになる。 ・もう少し頑張ってみよう。 ◎ お母さんに抱きしめられた主人公は、どんなことを考えていたでしょう。 ・あのお母さんが練習をやめなくてよかった。 ・練習を続けてよかった。 ・もっといろいろなことに挑戦してみたい。	・縄が何度も足に当たり、くく子を押さえ、来ているかかべ感で練習する。 ・主人公がお母さん「いつ咲くのか、分るのかあ。」と尋ねたときの様子や、握った縄の持ち手を握りしめた練習の気持ちに共感できるようにする。 ・ワークシートに書き込むことを通して、積極的に話し合えるようにする。 ・お母さんが続けた理由が、主人公の練習を続ける喜びに共感できるようにする。	ワークシート
	3 自分を振り返る。	○ あきらめずに最後まで取り組んでよかったと思ったり、頑張りたいことなどはどんなことですか。 ・一輪車の練習をずっと頑張ってきた、とても嬉しかった。 ・毎日、読書に取り組んで、苦手だった読書が好きになった。 ・お手伝いを続けて、少しずついろいろなことを任せられるようになって嬉しい。	・日常生活での体験や学校生活の中でやったり、実感したい自然度や、身近なる一歩ずつの成長や、目標や、やる気、努力の態度を育む。	
終 末	4 本時の振り返りをする。		・指導者自身のこれまでの体験を話し、あきらめずに挑戦し続けることにも考えられる。	ワークシート